

サーキットの ススメ

走れるクルマの
本当の遊び方

Vol. 41 フォーミュラEnjoy

最新スポーツカーを本気で楽しむなら、サーキット走行が最善の道! というわけでこの連載では毎回サーキットを身近に感じる方法を模索している。前回に引き続き紹介するのはフォーミュラEnjoy。鈴鹿サーキット南コースでの試乗を通じて、その実力を体感した。



SUPERVISOR ● 田中哲也 (TANAKA Tetsuya)

TEXT ● 吉岡卓朗 (YOSHIOKA Takuro)

PHOTO ● 益田和久 (MASUDA Kazuhisa)

SUPERVISOR

田中哲也

本誌おなじみのサーキットご意見番。今シーズンはスーパーGT300クラスに監督で、スーパー耐久シリーズST-3クラスと86 / BRZレースにドライバーで参戦。フォーミュラでは国内最高峰のフォーミュラニッポンに参戦している。

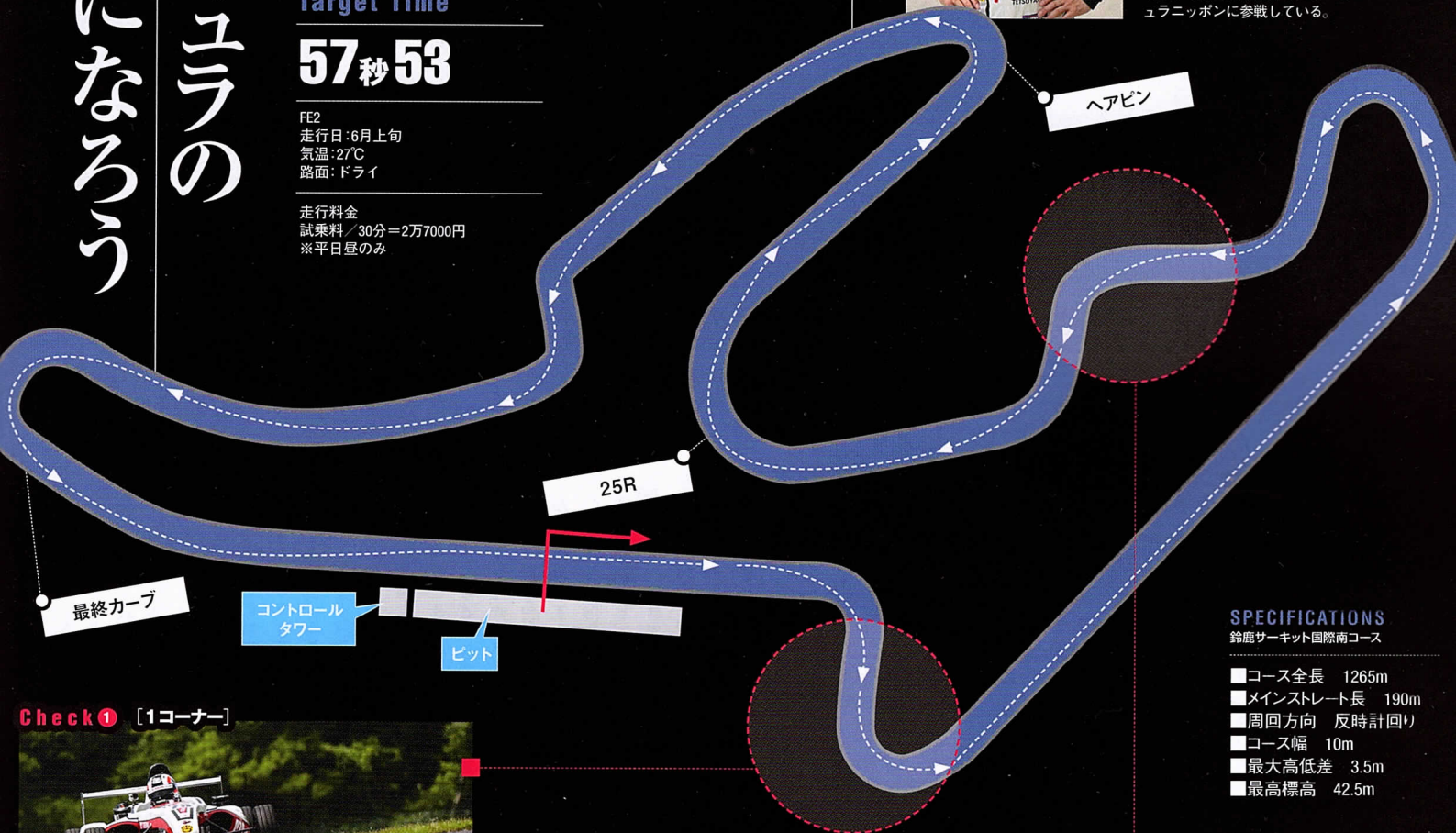
フォーミュラの 虜になろう

Target Time

57秒53

FE2
走行日: 6月上旬
気温: 27°C
路面: ドライ

走行料金
試乗料 / 30分 = 2万7000円
※平日昼のみ



SPECIFICATIONS

鈴鹿サーキット国際南コース

- コース全長 1265m
- メインストレート長 190m
- 周回方向 反時計回り
- コース幅 10m
- 最大高低差 3.5m
- 最高標高 42.5m

Check ② [S字コーナー]



鈴鹿らしいS字コーナー 左右きっちり攻める

S字は3つめの右コーナーから次の25Rにできるだけ速く立ち上げられるように組み立てていく。シフトはコーナリング中ではなく、コーナーとコーナーの間にしよう。最初の右を過ぎたあたりで3速にするといい。FE2になって、先代よりもマシンの剛性感が上がり、ステアした際のフロントの反応がよかった。フロントの接地感が増したことでリヤが少し流れるようになったが、フォーミュラらしく積極的に左右の縁石を攻めてみよう。

Check ① [1コーナー]



迫力の1コーナー飛び込み 次のストレートを考えたラインをとる

1コーナーはランオフエリアが広いので、右フロントタイヤがロックするかもしれない攻めたブレーキに挑戦してほしい。FEはパワーがないので、できるだけ速度を維持することを心がける。右1コーナーで向きが変わったら、左2コーナーに向けて一瞬全開にして加速。ターンインでは荷重移動でクルマが左旋回するように丁寧に操作する。次のストレートが長いので、最高速が伸びるように立ち上がり重視のライン取りを心がける。